

# 第44期 株主通信

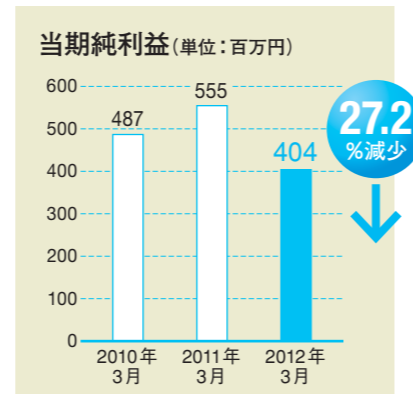
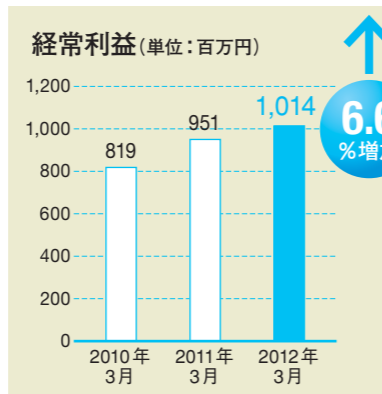
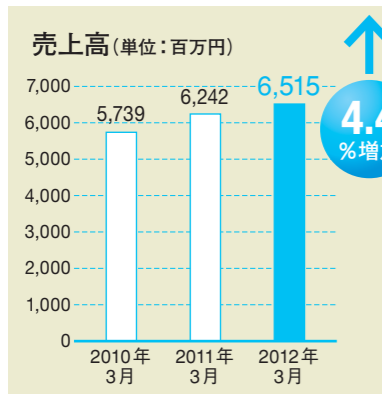
2011年4月1日～2012年3月31日

証券コード：7775

Open the Medical Frontier

 **COOPDECH**

## 6期連続で増収・経常増益



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

平素は、格別なるご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに、2012年3月期決算と事業の状況をご報告申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、米国を中心とする海外経済の持ち直しや各種政策効果などを背景に、景気の持ち直しが期待されるものの、欧州の政府債務危機の影響、原油価格の高騰、厳しい雇用情勢等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、医療機器を取り巻く事業環境は、2年に一度の診療報酬改定においてプラス改定が決定し、急性期医療や在宅

医療へ重点的に配分されることになりました。しかしながら、国による医療費抑制政策は喫緊の課題であることには変わりなく、さらに国内外の電機メーカーを中心とした異業種からの新規参入や既存メーカーの新分野への積極的な取り組みなど、他メーカーとの競合も激しさを増しており、引き続き業界を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、ユーザーと密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに高度先進医療分野への研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

2012年3月期の決算は、主としてフィットフィックス及びキューインポットが好調に推移し、また、シリンジェクター関連

では特定保険医療材料であるPCAセットが前年並みに推移したことにより、売上高は65億15百万円(前期比4.4%増)、経常利益は10億14百万円(前期比6.6%増)となりました。役員退職慰労引当金の打ち切り支給に伴い、繰延税金資産を取り崩したこと等により法人税等調整額の計上が増加し、当期純利益は4億4百万円(前期比27.2%減)となりました。

今後の当社を取り巻く環境は、医療費抑制策の基調が継続し、病院間の競争の激化や国内外のメーカーとの価格競争などにより、引き続き厳しい状況で推移するものと思われます。このような状況のもと、当社の営業・技術・製造が一体となって市場競争力を高め、独創技術で医療革命を目指す意味をこめたクーデック(COOPDECH)のブランディング強化に努めながら、さらなる業績と顧客満足度の向上を図り、企業価値の増大に向けて以下のことに取り組んでまいります。

- ① 既存製品の拡充・新製品の開発
- ② 海外販売の拡充
- ③ 優秀な人材の確保、教育の強化
- ④ 品質保証体制の充実
- ⑤ 強固な企業体質の確立

こうした状況を踏まえ、2013年3月期の見通しといたしました。売上高71億円(前期比9.0%増)、経常利益11億円(前期比8.4%増)を計画しております。

また、当社は、株主への配当政策を重要経営課題の一つと認識し、経営成績に裏づけされた成果の配分を行うことを基本と考えております。この基本方針に基づき、2012年3月期の期末配当金を1株当たり23円とさせていただきます。



代表取締役社長

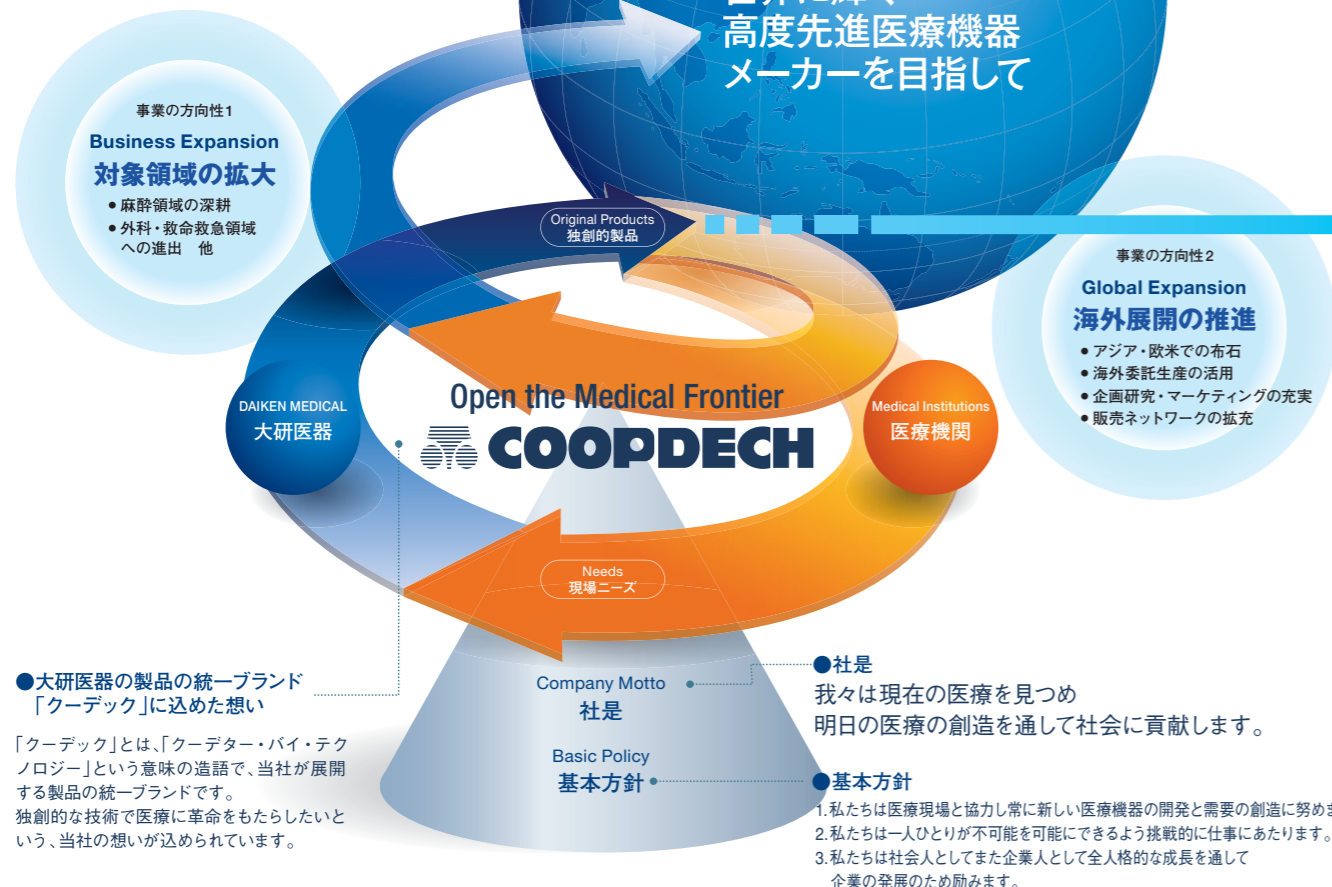
山田 達一

当社のビジネスの特徴

- 常に視野を広げ世の中の潮流の先を読む
- すべて顧客目線で捉え、医療現場とタッグを組んだ柔軟な組織で変化に機敏に対応する
- 焦点を絞った製品創りに没頭集中することによって特許に裏付けられた独創的な製品を提供し続ける

Global Innovative Manufacturer

世界に輝く  
高度先進医療機器  
メーカーを目指して



「世界に輝く高度先進医療機器メーカー」の実現に向け、独創的な製品を次々と開発

Suction

手術中の血液や体液等の廃液を吸収し、ワンタッチで凝固させることができます。凝固剤一体型で完全密閉のため、安心して移動・焼却処分が可能で、ウィルス等の院内感染予防に貢献します。

フィットフィックス



手術中に排出された血液や体液を吸収し、貯溜するディスポーザブル吸引器。

クーデック キューインポット



軽量かつコンパクトな使い捨て吸引器。病棟で簡単かつ清潔に使用可能。

Pump

手術後の痛みやがんの痛みを軽減するため、麻酔等の薬液を常に一定の流量で注入します。大気圧やメカトロニクス技術を利用することで、理想的な流量精度を実現しました。またPCAを利用することにより、現場のニーズにあわせて鎮痛剤の追加投与が可能となりました。

クーデック シリンジェクター PCAセット



昨年発売した新しいPCAでは薬液投与量の記録管理等が可能となりました。

クーデック シリンジポンプ



注射筒に入った輸液を注入する電動ポンプ。高い精度で多様な流量調整が可能。

Others

救急医療や手術室等で使用する様々な製品を作り出しています。今後は、低侵襲治療に係る最先端技術の開発や在宅医療等の新領域にも挑戦し、患者様のクオリティ・オブ・ライフの向上に繋がる製品を送り出していきます。

クーデック 気管支ブロッカーチューブ



片側の肺にだけ人工呼吸を行う「分離肺換気」をサポート。気管支への低負担が特徴。

クーデック ビデオラリンゴスコープポータブル



CCDカメラで口腔内を映し、液晶画面に拡大表示して気管挿管をサポート。

研究開発  
| 特集 |

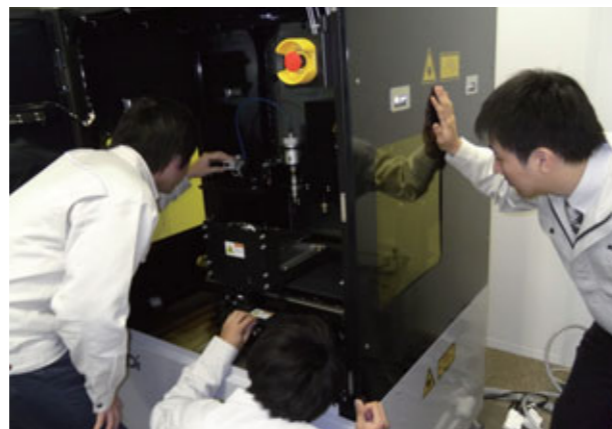
## 新市場開発部による 低侵襲領域への挑戦。

昨年4月18日、神奈川県川崎市かながわサイエンスパーク内に、新たに研究開発拠点（部門名称：新市場開発部）を設立しました。

新市場開発部では、現在当社の主力分野である麻酔・感染領域に加えてさらに新しい事業領域を開拓すべく、低侵襲治療用具の研究開発を行っております。低侵襲治療とは、手術・検査などに伴う痛みや出血等、からだの負担が少ない医療機器を用いて診断・治療を行うことです。患者様の負担が少なく、回復も早くなることから、大変注目されている分野です。

さて、設立から1年あまり経った現在、大学との先端的な共同研究をはじめとして、すでに複数のプロジェクトを同時に進め、レーザー技術、機能樹脂技術などの要素技術を開発しております。また、適切な治療に欠かせない診断においても、遺伝子解析技術の開発を進めております。いずれも当社の独自技術に基づいたプロジェクトであり、これまで世界になかった製品開発を行っております。

当社の使命である患者様の早期回復・社会復帰の実現に向けて、数年内の発売を目指し、今後もさらに企画開発を進めてまいります。



## 新製品の開発と新分野への 進出を目指し、業績向上と 企業価値増大を目指します。

当社の45期（2013年3月期）の業績予想は、売上高は前期比9.0%増の71億円、経常利益は前期比8.4%増の11億円を見込んでおります。

既存製品を拡販していくことに加え、これからも他にない画期的な新商品を上市してまいります。直近の実績といたしましては、2011年11月に「化学療法用バルーンジェクター」を発売開始いたしました。今回新たに化学療法に最適な製品を開発することで、外来や在宅での抗がん剤治療を行う患者様にもクーデックバルーンジェクターがご使用いただけるようになりました。

今後も引き続き新たな医科領域へ進出すべく救命救急分野で生存率の向上を目指す咽頭冷却装置や神奈川県川崎市に設立した新研究所にて低侵襲治療用具の研究開発を着々と進めてまいります。これからも当社の新製品にご期待下さい。

当社の認知度向上に向け、IR活動にも積極的に力を入れていきます。昨年度の実績としましては、個人投資家様向けの会社説明会を全国的に計18回行いました。また、雑誌やTV等の各種メディアにも多数取り上げていた

いただきました。ホームページでも新着状況を随時更新しており、当社の取り組みや内容を幅広い方々に知っていただくよう努力しております。

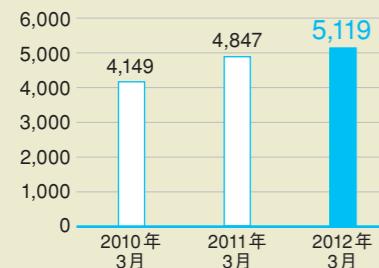
今後も、当社の研究開発・製造・営業が一体となって市場競争力を高めるとともに、さらなる業績の向上、企業価値の増大を通じ、株主の皆様には配当やキャピタルゲインにて継続的に利益還元を実施していきたいと考えております。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



化学療法用バルーンジェクター

### 流動資産 51億19百万円

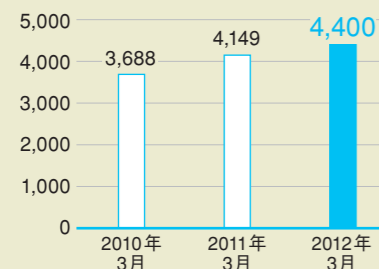
(単位:百万円)



流動資産は前事業年度末に比べて、2億71百万円増加し51億19百万円となりました。これは、主として受取手形が1億73百万円減少したものの、現金及び預金が1億57百万円、原材料が74百万円、製品が1億66百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

### 純資産 44億00百万円

(単位:百万円)



純資産は前事業年度末に比べて、2億50百万円増加し44億00百万円となりました。これは、主として繰越利益剰余金が剰余金の配当により1億62百万円減少したものの、当期純利益の計上により4億4百万円増加したこと等によるものです。

### 貸借対照表(単位:百万円)

| 科目           | 前事業年度<br>(2011年3月末) | 当事業年度<br>(2012年3月末) |
|--------------|---------------------|---------------------|
| ○資産の部        |                     |                     |
| 流動資産         | 4,847               | 5,119               |
| 固定資産         | 3,013               | 2,695               |
| 有形固定資産       | 2,539               | 2,396               |
| 無形固定資産       | 87                  | 103                 |
| 投資その他の資産     | 387                 | 194                 |
| 資産合計         | 7,861               | 7,814               |
| ○負債の部        |                     |                     |
| 流動負債         | 2,424               | 2,454               |
| 固定負債         | 1,287               | 960                 |
| 負債合計         | 3,712               | 3,414               |
| ○純資産の部       |                     |                     |
| 株主資本         | 4,148               | 4,397               |
| 資本金          | 495                 | 495                 |
| 資本剰余金        | 422                 | 423                 |
| 利益剰余金        | 3,371               | 3,613               |
| 自己株式         | △141                | △135                |
| 評価・換算差額等     | △0.3                | △0.4                |
| その他有価証券評価差額金 | △0.3                | △0.4                |
| 新株予約権        | 1                   | 2                   |
| 純資産合計        | 4,149               | 4,400               |
| 負債純資産合計      | 7,861               | 7,814               |

### 損益計算書(単位:百万円)

| 科目           | 前事業年度<br>(2010年4月1日から<br>2011年3月31日まで) | 当事業年度<br>(2011年4月1日から<br>2012年3月31日まで) |
|--------------|--|--|
| 売上高          | 6,242                                  | 6,515                                  |
| 売上原価         | 3,270                                  | 3,354                                  |
| 売上総利益        | 2,971                                  | 3,160                                  |
| 販売費及び一般管理費*  | 1,997                                  | 2,145                                  |
| 営業利益         | 974                                    | 1,014                                  |
| 営業外収益        | 6                                      | 13                                     |
| 営業外費用        | 29                                     | 13                                     |
| 経常利益         | 951                                    | 1,014                                  |
| 特別利益         | 2                                      | —                                      |
| 特別損失         | 38                                     | 12                                     |
| 税引前当期純利益     | 915                                    | 1,002                                  |
| 法人税、住民税及び事業税 | 394                                    | 409                                    |
| 法人税等調整額      | △34                                    | 188                                    |
| 当期純利益        | 555                                    | 404                                    |

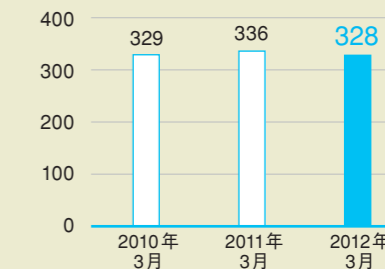
### キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

| 科目                  | 前事業年度<br>(2010年4月1日から<br>2011年3月31日まで) | 当事業年度<br>(2011年4月1日から<br>2012年3月31日まで) |
|---------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 920                                    | 254                                    |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △246                                   | △253                                   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | △329                                   | 156                                    |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 345                                    | 157                                    |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 1,153                                  | 1,498                                  |
| 現金及び現金同等物の期末残高      | 1,498                                  | 1,656                                  |

### 研究開発費 3億28百万円

(※販売費及び一般管理費)

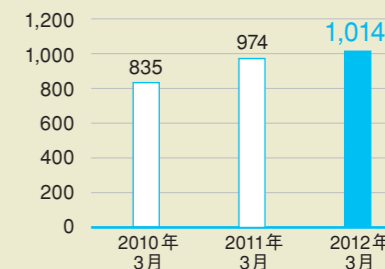
(単位:百万円)



研究開発費は、前年とほぼ同水準の3億28百万円となりました。主に、産学連携による先端医療機器の開発を行っております。

### 営業利益 10億14百万円

(単位:百万円)



営業利益は10億14百万円(前期比4.1%増)となりました。これは、主として売上増加に伴い販売費等が増加したものの、売上総利益が増加したことによるものです。

# DAIKEN MEDICAL News Letter

## 2011 November

### 日本臨床麻酔学会第31回大会にてランチョンセミナーを開催

平成23年11月3日、日本臨床麻酔学会第31回大会において、当社主催のランチョンセミナー(「進化するディスプレイPCA装置～もっと気軽にIV-PCA～」)を沖縄コンベンションセンターにて開催いたしました。当日は、当社製品PCAの有用性に関して、現役のお医者様によるご講演(演題:「新規ディスプレイ注入器を用いたIVPCAプロトコルの提案」、「術後疼痛管理における投与量可変式新型ディスプレイPCA装置の有用性」)が行われました。会場の収容人数(500人)を超える参加希望者が出るほどの大盛況でした。



## 2011 December

### TV番組「医療最前線～高度化・グローバル化する医療～」に出演

最新の医療現場を伝える特別ドキュメンタリー番組「医療最前線～高度化・グローバル化する医療～」に当社が取り上げられました。地上波で本格的に当社の特集が組まれたのは今回が初となります。当社の開発担当者が直接医療現場に向いてヒアリングを行う様子や、新製品の開発エピソード、将来の展望等が放映されました。投資家の皆様や就職活動中の学生等、様々な方面から多数の反響をいただいております。



## 会社データ

### ■会社概要(2012年3月31日現在)

|      |                               |
|------|-------------------------------|
| 社名   | 大研医器株式会社                      |
| 設立   | 1968(昭和43)年11月5日              |
|      | 代表取締役会長 山田 満                  |
|      | 代表取締役社長 山田 圭一                 |
| 売上高  | 65億1,525万円                    |
| 従業員数 | 127名                          |
| 本社   | 〒541-0045<br>大阪市中央区道修町3丁目6番1号 |
| 業種   | 医療用機械器具製造販売、<br>医療用機械器具輸出入    |

### ■役員一覧(2012年6月26日現在)

|         |       |
|---------|-------|
| 代表取締役会長 | 山田 満  |
| 代表取締役社長 | 山田 圭一 |
| 専務取締役   | 山田 雅之 |
| 常務取締役   | 大浜 正彦 |
| 取締役     | 徳山 平烈 |
| 取締役     | 柳堀 真司 |
| 社外取締役   | 古賀 義久 |
| 常勤監査役   | 上原 康司 |
| 社外監査役   | 大工舎 宏 |
| 社外監査役   | 岩城 本臣 |

## 株式情報 (2012年3月31日現在)

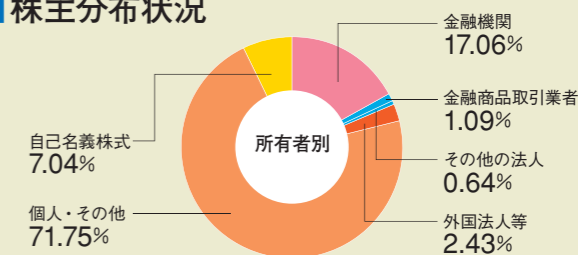
### ■株式の状況

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 25,840,000株 |
| 発行済株式の総数 | 7,960,000株  |
| 株主数      | 1,862名      |

| 大株主  | 持株数(株)    | 持株比率(%) |
|--|-----------|---------|
| 山田 満   | 1,539,320 | 20.80   |
| 山田 圭一  | 1,529,440 | 20.67   |
| 山田 雅之  | 778,840   | 10.52   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                          | 688,800   | 9.31    |
| 山田 米子  | 384,680   | 5.20    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                        | 320,000   | 4.32    |
| 野村信託銀行株式会社(投信口)                                  | 167,200   | 2.26    |
| 大研医器従業員持株会                                       | 122,300   | 1.65    |
| カブドットコム証券株式会社                                    | 61,300    | 0.83    |
| ビーエヌシー パリバ セキュリティーズ サービス ルクセンブルグ ジャスデック セキュリティーズ | 60,000    | 0.81    |

※当社は、自己名義株式を560,084株保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己名義株式を控除して計算しております。

### ■株主分布状況



| 所有者別分布状況 | 株主数(名) | 株式数(株)    | 百分率(%) |
|----------|--------|-----------|--------|
| 金融機関     | 20     | 1,357,700 | 17.06  |
| 金融商品取引業者 | 19     | 86,399    | 1.09   |
| その他の法人   | 9      | 50,800    | 0.64   |
| 外国法人等    | 21     | 193,800   | 2.43   |
| 個人・その他   | 1,792  | 5,711,217 | 71.75  |
| 自己名義株式   | 1      | 560,084   | 7.04   |

# 株主メモ Stockholder Memo

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主  
確定日 3月31日

中間配当金受領株主  
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告により行う。  
公告掲載URL <http://www.daiken-iki.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。  
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。  
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



医療社会を未来する——

## 大研医器株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号 京阪神御堂筋ビル14F  
TEL:06-6231-9901(代表)  
<http://www.daiken-iki.co.jp/>



この報告書は、再生可能な植物油インキを使用しています。